



～ プロフィール ～



サククス 宮崎華子

幼少期にピアノを始め、小学六年生で、サククスを手にする。広島県を中心にジャズ、ロック、ポップスなど幅広いジャンルで活動し経験を積む。

2014年からは活動の場を福岡、北九州にも広げ、様々なライブハウスで演奏、イベントへの出演も数多く、著名ミュージシャンとの共演も重ねている。2017年には、福岡の若手ジャズミュージシャンにより結成されたジャズカルテット“MOOU”（モーウ）にてミニアルバムをリリース。



ギター 田口悌治

17才より都内やNYにてライブ活動を行う。ギブソン・ジャズギター・コンテストに於いてベストギターリスト賞を獲得。NYでスティーヴ・ラ・スピナ(b) デヴィッド・キコスキー(p) アダム・ナスバウム(ds)シーマス・ブレイク(sax)とレコーディングを行い CD『Out

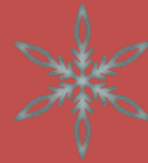
of The Line』発売。ロシア「ウラジオストク国際ジャズフェスティバル」「武満徹へのオマージュ」に出演9枚のリーダーアルバムを発表し、サポートメンバーとして多数のアルバムやツアーに参加。





ピアノ 渡辺大樹

大学入学後ジャズに魅了され、バンド活動等を開始する。ビル・エバンスに影響を受け、独自の演奏スタイルを展開。自己のピアノトリオをはじめ、多くのユニットに参加。精力的にソロライブもおこなっている。ジャンルを超えた演奏活動を展開する個性派ジャズピアニスト。



ベース アックス小野

13歳に吹奏楽部にてコントラバスを始める
ジェリーマリガン ライオネルハンプトンの
CDを聴きジャズベースの魅力にはまる。
東京藝術大学にてクラシックとジャズの両方を
学び、2013年帰郷後九州 沖縄を中心に演奏活
動を展開している

これまでにジャズベースを木村 索 Neil
Swainson 各氏に師事

2020年鹿児島ジャズフェスティバルに参加

